

【長崎市第五次総合計画 後期基本計画】

「豊かな心と郷土愛を育み 未来を拓く長崎のひとづくり」

- 心と体を育み、自ら学び、考え、行動するひと
 - 基礎学力の向上、自発的な学習意欲・体力の育成
- 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと
 - 人権教育、いじめ防止、インクルーシブ教育の充実
- 国際性豊かで、持続可能な世界の実現に貢献するひと
 - 英語教育・グローバル教育の推進、SDGs 学習
- 長崎を愛する心を持ち、まちを支え、未来へつなぐひと
 - 地元の歴史・文化・産業を学ぶ「ふるさと教育」やキャリア教育

【学校教育目標】

「感性豊かで、主体的に行動する生徒の育成」

望ましい集団生活をとおり、豊かな感性を持ち、主体的に学ぶ、心身ともに健やかな行動力のある生徒を育成する。

【目指す生徒像】知・徳・体の調和のとれた生徒

- ・心豊かで、礼儀正しい生徒 : 徳
- ・より求めて学び、創造する生徒 : 知
- ・健康で、たくましい生徒 : 体

【学力向上達成目標】

- ★ 2年:学力調査県平均に対して 国:「上回る」⇒「大きく上回る」数:「やや上回る」⇒「上回る」
- ★ 自分の考えを持ち、他と対話しながら理解を深め、豊かな表現と課題解決ができる生徒の育成

【学力向上委員会(研究推進委員会)を中心とした共通実践事項】

- 学力向上を目指した「授業改善4項目」の共通実践
(①学習規律 ②協働の場の設定 ③個に応じた指導 ④ICTを活用した指導)
- 授業改善に向けた研究授業と授業研究会による教師の指導力向上
- 「全国学力調査」「県学力調査」「市学力調査」の分析と課題追求
- 小中連携による学力向上「授業の相互参観」
- 家庭学習の充実
(①家庭学習の手引きの配付 ②週末課題 ③家庭学習計画表の効果的な活用)

【今年度の重点実践】～学力調査の結果をふまえて～

- 対話の場面を設定し、生徒が自分の考えを持ち、表現しながら課題解決していく授業への改善
- 読み解く力や書く(作図)力に重点を置いた基礎基本の定着
- 学校評価における肯定的評価の割合:「対話を重視した協働的な学びを行っている」生徒100%を目指す。

【基礎・基本の徹底】

- 「めあて」提示と「まとめ」の実践
- 授業の5か条による学習規律の徹底
- 単元テスト・小テストの実施
- 視写・読書の時間の設定
- キュビナの活用

【思考力・表現力等の育成】

- 「書く活動」「自分の意見を述べる活動」を重視した授業づくり
- 定期及び実力テストでの「考えの根拠」などを書く「問題の作成と分析」
- 対話の場面を設定した授業づくり
- お互いに考えを安心して伝え合い、認め合う環境づくり
- ICTや図書室の活用

【家庭学習の習慣】

- 「家庭学習の手引き」の配付・活用
- 家庭学習計画表の提出、助言
- キュビナや TerraTalk を活用した課題
- 「身に付けたこと」の定着を図る課題
- 「書く」力をつける課題
- 自学スペース設置

【学力調査結果を踏まえた取組】

- 国語科:問いの内容を理解するため、答え方のパターンと文章の構成を確認しながら授業を展開する。
文章の内容をとらえ、要旨をまとめる演習を行う。
資料を使って、それぞれの意見をまとめ、記述する演習を行う。
- 数学科:図解や作図に関する基本的な知識を活用して課題を解決するような学習活動を積極的に取り入れる。
単元末テストを効果的に実施し、単元ごとに定着した学力を適切に図ることで技能を定着させる。
- 英語科:帯活動で音読や教科書の視写を行い、読解力、作文、話すことにおける知識・理解の定着を図る。
単元末に自分の考えや社会的事項についてまとまりのある英文を書く活動を設け、表現力を養う。

【指導と評価の一体化】

- 評価に基づく検証
- PDCA サイクルによる検証
- 定期テスト、学期ごとの検証
- 学校評価
- 生徒アンケート
- 各学力調査

【学びを支える家庭・地域】

【家庭】

- 「見守り活動」の実施
- 家庭学習の習慣化
- 「家庭学習の手引き」の配付
- 全国学力・学習状況調査をもとにした生活習慣の見直し

【地域】

- 学校評議員会の開催
- 小中連携を通じた授業連携・共通指導実践
- 地域(自治会・育成協など)との連携
- 花いっぱい運動
- 地域行事等による家庭の教育力向上